

総会報告

■NPO法人愛知スポーツ倶楽部 平成24年度総会開催!

平成24年6月6日(水)18:30よりナビタ名灯ビル9F小会議室にて、NPO法人愛知スポーツ倶楽部の平成24年度総会が開催されました。ご多忙中にも関わらず、岡本善博会長をはじめ委任状を含めて35名の出席者を得て、神戸勝理事長による議事進行のもと執り行われました。ご出席頂きました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

会に先立ち、岡本会長、小川靖二副会長からご挨拶を頂きました。また、神戸理事長よりロンドンオリンピック最終予選に関する報告とこれまでの日本代表チームの活動へのご理解に対する御礼・挨拶がありました。

総会におきましては、平成23年度事業報告及び決算報告案の承認、平成24年度事業計画及び予算計画案の承認、役員選任の承認、主たる事務所変更の承認、以上の件について決議を頂きました。決算報告の説明の際には、会計担当理事であります服部治彦理事に決算のご確認も頂きました。おかげさまで当法人の予算も3千万に迫るところまでになって参りました。報告事項として、フラテルの新体制(今年度より高橋章氏が監督に選任されました)、これまでの日本リーグの成績、ホッケー普及プロジェクトの進捗状況などが報告されました。

【新運営会員企業のご紹介】今年度より大阪シーリング印刷株式会社様に新運営会員企業としてご入会頂きました。評議員として松口正氏(代表取締役社長)、理事として塩川利昭氏(専務取締役)、サポート委員として岡橋裕一氏(執行役員総務部長)をご選任頂きました。新人の塩川直人選手が大阪シーリング印刷(株)に所属しております。

【事務所移転のお知らせ】2012年5月28日に表示灯欄の社屋移転に伴い、NPO法人愛知スポーツ倶楽部の事務所も移転する事となりました。理事会・総会にお越しの際は、お間違いない様お願い致します

2012年度公式戦スケジュール

■高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ

期間:2012年6・7・9・10月

会場:山梨(山梨学院ホッケースタジアム) 埼玉(飯能市阿須ホッケー場) 福井(越前町宮朝日総合運動場)

岐阜(岐阜県グリーンスタジアム) 京都(立命館大学校野ホッケー場)

節	日	期間	会場	試合開始	対戦相手	試合結果
第1節	第1日	6月2日(土)	山梨	13:10	レギュラーシーズン ALDER飯能	○6-0
	第2日	6月3日(日)	山梨	10:00	レギュラーシーズン 診療印刷	○2-0
第2節	第3日	6月9日(土)	埼玉	11:30	レギュラーシーズン 東京農業大学	○5-2
	第4日	6月10日(日)	埼玉	10:00	レギュラーシーズン 山梨学院OCTOBER EAGLES	○7-1
第3節	第5日	7月7日(土)	福井	14:50	レギュラーシーズン 岐阜朝日クラブ	○2-1
	第6日	7月8日(日)	福井	10:00	レギュラーシーズン 天理大学ベアーズ	○7-1
第4節	第7日	9月8日(土)	岐阜	15:00	レギュラーシーズン 福井クラブ	
	第8日	9月9日(日)	岐阜	15:00	レギュラーシーズン 小矢部RED OX	
第5節	第9日	9月22日(土・祝)	京都	14:50	レギュラーシーズン Selrio島根	
	第10日	9月23日(日)	京都	13:20	レギュラーシーズン 立命館大学ホリーズ	
第6節	第11日	10月14日(日)	埼玉	13:10	レギュラーシーズン 法政大学	
	第12日	10月19日(金)	岐阜	11:00	順位決定戦 リーグ戦第4位 vs リーグ戦第5位	
プレーオフ	第12日	10月19日(金)	岐阜	13:00	順位決定戦 リーグ戦第3位 vs リーグ戦第6位	
	第13日	10月20日(土)	岐阜	11:00	準決勝戦 リーグ戦第2位 vs 3位、6位勝者	
			岐阜	13:00	準決勝戦 リーグ戦第1位 vs 4位、5位勝者	
	最終日	10月21日(日)	岐阜	11:00	3位決定戦 準決勝戦敗者 vs 準決勝戦敗者	
		岐阜	13:00	決勝戦 準決勝戦勝者 vs 準決勝戦勝者		

■男子第54回全日本社会人ホッケー選手権大会

期間:2012年9月15日(土)~9月19日(水)

開催地:東京/日野市民陸上競技場 浅川スポーツ公園グラウンド

■第67回国民体育大会ホッケー競技

期間:2012年9月30日(日)~10月4日(木)

開催地:岐阜/岐阜県グリーンスタジアム

■第86回全日本ホッケー選手権大会

期間:2012年11月16日(金)~11月18日(日)、12月8日(土)~9日(日)

開催地:埼玉/飯能市阿須ホッケー場

次号Vol.14は

10月頃発行予定

社会人選手権大会速報

企業紹介

平成24年8月度理事会報告

...etc



名古屋フラテルホッケーチームの運営母体であるNPO法人愛知スポーツ倶楽部は、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成を受け、様々な事業を展開しております。



- 発行元: 特定非営利活動法人愛知スポーツ倶楽部 ●発行人: 神戸 勝
- 事務局: 〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目2-11 ナビタ名灯ビル
- 編集: 安井妙子 ●監修: 永井東一 ●愛知スポーツ倶楽部HP: <http://www.aichisportsclub.com/>
- メール: info@aichisportsclub.com ●名古屋フラテルHP: <http://www.frater.or.jp/>

©AICHI SPORTS CLUB ©NAGOYA FRATER HOCKEY TEAM
この冊子に掲載されている全ての情報(文字、写真、イラスト等)及び全体は編集著作物として著作権の対象となっています。許可無く引用・転載複製を行うことを禁じます。

FRATER FAMILY ONLY for MEMBERS

<http://www.frater.or.jp/>



Vol.13



FRATER FAMILY

2012年度GAMEプレビュー

広報・交流プロジェクト

NEWS & TOPICS

MESSAGE FROM OFFICE

総会報告

2012年度公式戦スケジュール

Vol.13
2012.09

ONLY for MEMBERS



第1節 2012年6月2日(土) VS ALDER飯能 (山梨・山梨学院ホッケースタジアム)



名古屋フラーテル
ホッケーチーム **6** {前半 1-0} {後半 5-0} **0** ALDER飯能

高円宮杯2012ホッケー日本リーグ男子の開幕戦は、ALDER飯能のセンターパスにより開始される。両者ともに相手サークルに侵入するものの、得点することができない。27分、フラーテルは#6河内の鮮やかなタッチシュートで先制する。そのまま前半戦は終了し、1-0で折り返す。

後半開始5分、PCから#14長澤がフリックで確実に決め2-0とする。飯能が少ないチャンスを生かして攻めあがるも、フラーテルは堅い守備によりゴールを許さない。その後フラーテルは50分、54分と#5渡邊が2得点を決め、その後も勢いは衰えることなく、59分に#12坪内、65分には#17橋が次々と追加点を挙げ、終わってみれば6-0。見事初戦を白星で飾った。



第1節 2012年6月3日(日) VS 診療印刷 (山梨・山梨学院ホッケースタジアム)



名古屋フラーテル
ホッケーチーム **2** {前半 2-0} {後半 0-0} **0** 診療印刷

第2戦は、今シーズンより新たに日本リーグに参戦した診療印刷との対戦。フラーテル発足初年度の2006年秋田で開催された社会人大会以来の対戦。診療印刷は日本リーグ参戦に向けて強化しており、油断の出来ない相手である。試合は診療印刷のセンターパスにより開始される。フラーテルは速いパス回しによりチャンスをつくり、22分に#11川上(啓)、29分には#7猿養と共にタッチシュートで得点を決めて、2-0とし前半を折り返す。

後半に入っても、フラーテルは圧倒的にボールを支配するが、パスやシュートの精彩を欠き、追加点をあげる事が出来ない。その後もチャンスを生かすことが出来ず、後半は無得点のまま、試合は終了。2-0でフラーテルが勝利し、勝ち点を6とした。



※この試合には記録写真が無いため、7月8日撮影のものをイメージ写真として掲載しています。

第2節 2012年6月9日(土) VS 東京農業大学 (埼玉・飯能市阿須ホッケー場)



名古屋フラーテル
ホッケーチーム **5** {前半 2-0} {後半 3-2} **2** 東京農業大学

試合開始からフラーテルが素早いパス回しによりペースを握る。5分、相手DFのクリアしたボールがサークル内左サイドにいた#18福代に渡り、センタリングを上げるが、相手DFのスティックにあたりゴールに吸い込まれ、先取点を得る。32分には#17橋の左からのパスを#6河内が押し込み、2点目を挙げ、2-0で前半終了。

後半開始早々37分に農大にPCでフリックシュートを決められ、2-1とされる。しかし、43分にPCを獲得。バリエーションシュートからのリバウンドを#7猿養が押し込み3-1とする。2点のリードもつかの間、49分に再び農大にPCからリバウンドを決められ、3-2となる。しかしながらその後、フラーテルの攻撃が功を奏し59分#17橋、62分#5渡邊が立て続けに得点、農大の巧みなPCに1点差に迫られる場面はあったが、結果5-2で試合を終えた。



オアシス21にフラーテル再び出る!!

昨年に引き続き今年も、海の日である7月16日(月・祝)に、日本ハンドボールリーグのHC名古屋さんと名古屋オーシャンズのイベントに参加して参りました!会場は昨年と同様、名古屋 栄のと真ん中にある、オアシス21。

フラーテルは、今回体験スペースを新たに設けたプ

広報・交流プロジェクト
名古屋オーシャンズ・HC名古屋とコラボ!!

NEWS & TOPICS

放送席から見える
ロンドンオリンピックホッケー場の風景

ロンドン中心部から地下鉄で20分のところに位置するストラトフォード駅、ここにオリンピックパークがあります。このオリンピックパークには、陸上の他に、水泳、水球、ハンドボール、バスケットボール、自転車、そしてホッケー会場があります。ホッケー会場は、ご存知のとおり、青い人工芝のフィールド。ラインの外にはピンク色の人工芝でLONDON2012と記されています。16,000人収容のスタンドは全て仮設。オリンピック後はすべて取り壊されるのではないかと思います。メインスタンドの一番高いところにはVIPルームが作られていました。期間中にロイヤルファミリーのケイトさんもこられたようです。

ースの設置に加え、約30分間のデモンストレーションを行いました。

ブース内では、極限られた体験スペースではあったものの、選手が直接指導し、ホッケーを全く知らない子ども達に、ホッケーの楽しさや難しさを体験して頂きました。

またデモンストレーションに於いては、昨年の約3倍もの時間を提供して頂いたこともあり、5名ずつの2チームに分かれた実戦形式によるルール説明をはじめ、真剣勝負のミニゲーム、今年度より導入されましたPSO(ペナルティーシュートアウト)を披露致しました。

大変な暑さの中で行われたこのイベント。GK姿で会場内を歩きまわった、森嶋選

手は子ども達に大人気!!他の選手たちも、汗だくになりながら、今年初登場のフラーテルカードを積極的に配るなど、水分補給する間も惜しんで、PR活動に精を出してくれました。

フラーテルは、今後も様々な場所で工夫を凝らし、ホッケーの楽しさをPRして参ります!!

さて、日本女子代表チーム、さくらジャパンのオリンピックでの成績ですが、最終的には12チーム中9位という順位に終わりました。トーナメントを通してみれば2勝1分3敗という戦績であり、とりたてて悪かったという印象はありません。むしろ苦しい状況の中でも何とかそれを打開するための努力は随所に見られました。それこそオリンピックですから、劣勢の戦いは当初から予想できた事でありそれは、優勝したオランダやドイツの試合を見ても同じことです。やはり一番悔やまれる事は、初戦のイギリス戦の前半。もちろんスポーツに「たられば」はありませんから、いまさら仕方のないことですが、このイギリス戦前半での4失点が無ければ、予選リーグ通しての得失点差はマイナス1でありオリンピックでほぼイーブンの戦いが出来ていた事が想像できます。

4年後のリオデジャネイロオリンピックからは、オリンピック世界最終予選というシステムは無くなり、今年からスタートするワールドリーグに参加し、より上位へ進出していくことでオリンピックの出場権の獲得を目指す必要があります。もちろん、アジア大会優勝も日本のこれからの一つとしてその可能性を広げています。すなわち、単発的な強化で無く継続的な強化活動が要求される状況になっていくことになります。

順位	優勝	オランダ
2位	アルゼンチン	
3位	イギリス	
4位	ニュージーランド	
5位	オーストラリア	
6位	中国	
7位	ドイツ	
8位	韓国	
9位	日本	
10位	南アフリカ	
11位	ベルギー	
12位	アメリカ	



第2節 2012年6月10日(日) VS 山梨学院OCTOBER EAGLES (埼玉・飯能市阿須ホッケー場)



名古屋フラーテル
ホッケーチーム **7** {前半 3-0} {後半 4-1} **1** 山梨学院 OCTOBER EAGLES

フラーテルのセンターパスにより試合が開始され、15分PCで#11川上(啓)がタッチシュートで先制する。29分には#4小野が右サイドを突破してそのままゴールを決め2-0とする。その後もフラーテルは攻撃の手を緩めることなく、32分に左サイドから#11川上(啓)がリバースヒットでセンタリングを通し、それに反応した#7猿養はゴール右上に豪快なタッチシュートを決め、3-0で前半を折り返す。

後半開始早々の38分、PCを与えてしまいフリックシュートを決められ3-1。43分には#14長澤がPCからフリックシュート、50分には新人#8塩川のタッチシュート、58分には再び長澤のフリックシュートとコンスタントに得点を重ねる。更に65分にはサークル右サイドから新人#22井島のスライブシュートが決まり、7-1で勝利を収めた。



第3節 2012年7月7日(土) VS 岐阜朝日クラブ (福井・越前町宮朝日総合運動場)



名古屋フラーテル
ホッケーチーム **2** {前半 0-0} {後半 2-1} **1** 岐阜朝日クラブ

開始から両チーム中盤での競り合いが多く、一進一退の攻防が続く。30分#12坪内が絶好のシュートチャンスを迎えるもゴールの枠を捕らえることができない。互いに慎重なゲーム展開で、なかなかチャンスを見出せないまま、前半を終える。

後半、積極的に攻撃を仕掛けたフラーテルは、54分センターライン付近からのロングパスをゴール前にいた#7猿養が、先制点を挙げ均衡を破る。その後59分岐阜にPCから得点を許し、すぐに同点とされる。しかし、直後の60分#12坪内がサークル左側から受けたパスを決め、これが決勝点となる。辛くも2-1で逃げ切り、5連勝で勝ち点を15に伸ばした。



第3節 2012年7月8日(日) VS 天理大学ペアーズ (福井・越前町宮朝日総合運動場)



名古屋フラーテル
ホッケーチーム **7** {前半 2-0} {後半 5-1} **1** 天理大学ペアーズ

前半戦の山場となる、暫定2位との対戦。開始9分#14長澤がPCからフリックシュートを決めると、17分#17橋はGKに阻まれるがそのリバウンドを#6河内が決めて、ゲームの主導権を握る。

後半開始早々36分PCを取得すると、#14長澤のフリックシュートを相手GKが弾き、ゴール右側にいた#3粥川がこのごぼれ球を決める。直後の38分には#8塩川がドリブルで持ち込み、#6河内に鮮やかに合わせ4-0とする。以降51分#12坪内、52分#4小野、59分#18福代が立て続けにゴールを決め、完勝をおさめるかに見えたが、53分天理大にドリブルでサークルを突破されヒットシュートを決められ7-1となる。結局、試合はこのまま終了し、勝ち点を18に伸ばしたフラーテルは、6連勝でHJL前半戦を終えた。



MESSAGE FROM OFFICE

竹田印刷株式会社(猿養論選手勤務先)

印刷のみに留まらず幅広い分野での技術革新を行う、竹田印刷株式会社。
弊社は、印刷物や各種メディアの企画・制作、半導体関連の設計・製造などの業務を、ソリューション活動で展開しています。

業務でも様々なフィールドを駆け回る、猿養選手!
猿養選手の在籍している総務部とは、いわば「会社の何でも屋さん」。電話応対から社内文書作成、工事立会い、社内外イベントの準備・対応など、毎日様々な仕事に携わってもらっています。それらの仕事に対して、猿養選手は持ち前の真面目さとグラウンドでも見せるフットワークの軽さで一生涯懸命に取り組んでおり、その姿勢は社内でも評判になっています。最近ではIR(投資家向け広報活動)や新卒採用業務など、社外の方へコミュニケーションを図る業務にも取り組んでもらい、まさに活動のフィールドを広げてもらっています。



ガンバレ! 猿養論選手!!

入社当時から比べると、最近では落ち着きも出て風格も増してきた(?)と感じる猿養君。普段会社ではシャイ(!?)な印象ですが、業務に取り組む姿勢はグラウンドでボールを必死に捕らえようと走る姿と同じく、ひたむきで一生涯懸命に頑張ってくれています。

真面目で優しい性格の猿養君、これからはもっと「攻め」の姿勢で突き進んで、プレーや業務でも更に飛躍してくれることを期待しています。ハードな練習や試合が続くなが大変ですがケガなどに気をつけて、名古屋フラーテルを、竹田印刷を引っ張って行ってください。

猿養選手のとある1日 (IR説明会にて)



受付にて緊張した面持ちで対応

丁寧に、わかりやすく説明します

